学校番号	３０１６

令和３年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」（日本文教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」など、美術はいろんな形でわたしたちの周りにあります。こういったものを、表現としてとらえ、日常の中で興味・関心を持って見るようにしましょう。発想や表現方法のたくさん入った引き出しを持つことが、みんなの美術の力になります。

美術は造形による表現です。「表現したいもの」とそれを表す「形」が必要です。自分なりの感じ方や見方、表現を自分で取り出せるよう自らへの理解を深めて行きましょう。そして、効果的な造形の基礎知識、効果的な技能への理解も深めて行きましょう。授業では、ふたつのバランスを取りながら、頭で考えすぎず、手を動かて、感じながら、取り組みましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	学習活動や制作の様子 ワークシート 作品	制作の様子 ワークシート 制作途中の作品 作品	制作の様子 ワークシート 制作途中の作品 作品	鑑賞の様子 鑑賞レポート ワークシート 交流用紙

個々の作品の評価点、出席、作品制作状況、レポート等の状況も加味して、上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	美術とは何か	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 授業時の心構え 教科書を鑑賞し「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・人物クロッキー 生徒相互がモデルになってクロッキーをする。人物の骨格、重心、バランス、動勢などに注意する。毎授業開始時に行う。	○		○		a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 c:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、画面への入れ方などを工夫している。 クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 作品
	色彩構成―ネガティブ・ポジティブ―	【表現】【デザイン】 ・構成基礎 ・色彩構成 色彩効果を生かした平面構成を制作する。テーマ「ネガティブ・ポジティブ」 ・ケント紙にデザインガッシュで着色する ・対比するイメージを色彩の配色に置き換え、構図を工夫する ・色彩調和 ・対照と同化	○	○	○		a:「ネガティブ・ポジティブ」のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら、美しさや楽しさを感じる構成に意欲的に取り組んでいる。 b:条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c: 丁寧に色塗りができ、条件をもとに表現している。	制作の様子 作品 ワークシート
	線の構成　暮らしの中の文様	【表現】【デザイン】 ・線の構成 直線・曲線の配置により模様をつくる。 テーマ「生活を彩る模様」 ・ケント紙に箱の展開図をかき、組み立てて、表面に直線・曲線の模様をつくる ・直線・曲線の配置からできる線の表現を知る ・生活を楽しくし、美しく彩る模様を考える	○	○	○		a:線による多様な造形表現に関心を持ち、直線・曲線や配置などの働きを考えながら、生活を心豊かにする構成に主体的に取り組んでいる。 b:生活の中で楽しく、美しく感じられる線の構成ができる。 c:材料や用具を生かす技能を働かせ丁寧に作品をつくる。	制作の様子 ワークシート 作品
	鑑賞	【鑑賞】 ・展覧会、美術館に行き、感想をレポートにまとめる				○	d:美術の多様な表現の特質や様式、主題や表現方法について理解を深め、自己の意見を述べることができる。	鑑賞レポート

	鉛筆デッサン	【表現】【絵画・彫刻】 絵画表現の導入として形のとらえ方、陰影による立体感の表現などを、鉛筆を使って学習する ・比率で捉える ・面で捉える ・光源の方向と陰影表現 ・鉛筆、練り消しゴム	○		○		a: 形を比率や面の向き、陰影などの要素から捉えることを理解し、積極的に取り組んでいる。 c:デッサンの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	制作の様子 ワークシート
後期	身近なものを描く	【表現】【絵画・彫刻】 ・「具象絵画」 アクリル絵の具を使って、具象表現に取り組む ・アクリル絵の具の使い方 ・アクリル絵の具の重ねて塗ることができる性質を生かし、自分の表現を追求する 【鑑賞】 ・制作途中にお互いの作品を鑑賞する ・4 人一組のグループに分かれ、お互いの作品を鑑賞し、他人の作品に対しタイトルをつける	○ ○	○ ○	○	○	a:アクリル絵の具の特性を生かして表現することや対象の特徴を表現することに関心をもち、表現に主体的に取り組もうとしている。 b:対象をよく観察し、感じ取ったよさや美しさを基に、主題を生成して、構図を練っている。 c:形、立体感を表現でき、アクリル絵の具の特性を生かし、さまざまな表現技法を工夫している。 絵の具の重ね塗りを表現に生かせている。 a:作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、その人独自のものとして尊重している。 b:タイトルの役割を理解し、発想豊かにタイトルをつけることができる。 d:表現のよさや効果的な工夫を感じ取り、それに対して自己の意見を述べることができる。	制作の様子 ワークシート 制作途中の作品 作品 鑑賞の様子 ワークシート
	文芸祭	【鑑賞】 ・12月に校内展示を行う。原則として、全員前期課題を展示する。 ・相互鑑賞	○			○	a:作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、その人独自のものとして尊重している。 d:表現のよさや効果的な工夫を感じ取り、それに対して自己の意見を述べることができる。	鑑賞の様子 交流用紙

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになりますが、学習内容において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けています。

※　授業時間数や担当者の都合により、実施順序や内容に変更がある場合があります。